



## 歩く道を

我國道路の改良は道路法實施以來進むが

如く進まざるが如く思はれたが最近頓に進  
捲を見るに至つたが夫れども町村道で自動

車の通行し得られないものが少くない、  
橋梁は尙更らの事である、吾等は一段と努

力邁進の必要を感じるが夫れども新滿洲國  
に比すれば雲泥もたゞならない先進國であ

在住人はすでに慢性となつて、別に感じ  
ないかも知れないが、當市を訪れる旅行者  
観察者の誰しもが『なぜ道をなほさないの  
か』と不審がり、甚だしいのは、これも特  
殊地帯だからと、こんなところまで特  
殊ノ呼び方をするのである。

る、滿洲民は天に向つて訴へて曰く蒙都海  
拉爾の街路は、恐らく全滿都市隨一の惡道  
路であらう。沙漠の道路だけに風が吹けば  
『黃砂萬丈』一寸時の雨で忽ち泥濘脛を没  
し、長靴を穿かなくては道を歩けぬといふ  
始末、女子供は悲鳴をあげ、二、三日も雨

の日が續くと一面の沼地と化し、一寸道を  
横切ることも困難となり、自動車は隨所で  
スリップしてゐる。

路の改良は、市當局がもつと『活』を入れ  
てしかるべき問題であると尤もな要求であ  
る。

## 關門架橋は近代科學

### の精髓の化身？

敵の空襲爆撃のため破壊されるといふの  
で立消え、隧道掘鑿となつた關門海峡の架  
橋計畫が假令敵の爆彈を見舞はれても橋梁  
全體の破壊を受けるやうなことはないとい  
ふ科學日本の技術に依つて再び蒸し返され  
合せ改修くらゐでは、すぐ原狀に復するの  
内務省下關土木出張所では隧道開通と共に  
更に架橋の實現を圖るべく、これが設計に  
乗出すこととなつた、即ち關門國道隧道は  
幅員僅かに七米半に過ぎず、開通と共に直

**注**  
本欄は讀者諸氏の利用に提供す、治安  
と風俗とを害し又は人身攻撃に渡らざ  
る限り奇想天外的の奇稿を望む、本文  
は四百字位にて取捨は編輯子に一任、  
原稿は道路の改良編輯部宛のこととは。

に交通量の飽和點に達することは必然であり今一本隧道を掘鑿するか、それとも架橋に依るかと云ふに交通輸送には架橋が隧道より遙かに効果的であるといふ點から非常時用の隧道に對し、當時用の架橋を實現せんとする意向である。而して同架橋の設計の原案に依れば、架橋總工費は二千餘萬圓、延長九百餘米、幅員廿米で人道車道に分ち、電電車は敷設せしめず、一間僅に六、七千臺の自動車を通行せしめんとする計畫であるが、最も注目されるのは假令敵機の空襲爆弾投下を、受けても投下を受けた部分だけしか破壊されず、橋梁全體は壊されないといふ近代科學の精鑑が傾けられてゐることであつて、完成の曉は東洋第一の金門橋としてその壯嚴を關門の空に横たへるであらう。而して隧道に依る海底との握手と共に海底、海上、空中と本土九州の交通機關は茲に立體的握手が結ばれるのである、右につき下關土木出張所長三浦博士は語る、隣

道が開通されても現在の交通量を隧道だけでは収容することは不可能だ、今一本隧道を掘るか、それとも橋を架けるかといふ問題題だが當時用として橋が一番安全でもあり便利である、この點より當時用として新しく架橋を計畫せんとするもので假令敵弾を受けても部分的破壊だけに止まり全體的に破壊されないやうに苦心を拂ふつもりだと。吾々は一日も速かに其の出現を待望する。

### 魚板を叩いて「町名表

### 示を統一整備せよと」

### 横車押せば通ると自 惚れて

歐米の都市では、四辻の歩道の角には、必ず街燈兼用の鐵柱を立てゝあつた、それは鐵板で町名を掲示してあるし、中にはそのままの書地まで記入してあるものもある。

また家の入口の扉の上には、番地が大きくなり出来るから、初めての旅行者にも非常にわかりやすいし、いかにも都市全體が整然としてゐるといふ感がする。

○電車やバスの停留所にも標識柱が立てゝあつて、こゝには何町を通つて何處へ行く何番と何番との車が止ると書いてあるから乗り違ひがなく非常に便利である。

○吾國でも、市や町の施設として、統一した町名標示板の設置が行きわたつてをれば旅行者には勿論のこと、お互ひに未知の家を探して行く時など、どれほど便利で無駄な手数や時間が省けるか知れないと思ふと双手をあげて共鳴する。

之を要心して取扱へば良い氣になつて暮らして行く無道者がある、憎まれ子、世に憚る

とは斯様な連中のことぢや。先達の東朝に

中川善之助氏の一文があつた、面白い文章である。憎まれ子一日大生殺しの記事を見

てゐると被害者はかなり手に負へない人間

だつたらしい。こんなやうな憎まれ子は世間に相當多いことはではある。叔父がいつ

も無心をいひに來るとか、従弟が始終飲みに來ては暴れるとか、何とはなしに嫌味を

いひに來る友達<sup>ア</sup>といつたやうなものあ

る。どうも警察へ突出すわけにも行かず、來

てくれるなどもいへなかつたり、またいつ

たつて中々聽かなかつたりして、家庭を譲

もなく暗くさせるだけの効能だけを几帳面

に積累ねて行くといふ手輩である。法律も

駄目だし道徳はなほ利かない。思ひ餘つて

つゝ何でもない時に歎つちまつたりする。

X

村にもこんなのが、よくゐるものだ。仕

方がないから村八分にしちまへつてことに  
なる。町にこんなのがゐるとお祭のとき神  
輿がいつの間にか暴れ込んだりする。故意  
ではないか知れぬが無意識だとは決してい  
へまい。

ところが憎まれ子が人を苦しめてゐる間  
は防ぎやうがないのでゐてきて、一旦これが

被害者になると妙に世間から同情される。

いくら酷い奴でも殺さなくてよいと來

る。八分にしたり神輿をぶつけたりすると

やはり犯罪になる。法律が無力でゐながら

それではといつて自力救済を企てると出遇

ぎるといつて非難される。法治主義のもつ

一つの矛盾だらう。宿命かも知れない。ア

と法力で取締る方法もなく本人の良心に訴

へても麻痺(Palsy)した良心ではどうに

もならない矢張無理が通れば道理がひつこ

まねばならぬか嗚噫。

## ありやなしやの珍聞

### 奇譚(6)

○番所松のお化粧 下關市驛前電車軌  
條に掩ひかぶさり、よく街の話題となる番

所松はその昔徳川時代から慶藩置縣にいた

るまで同所に嚴めしく存在した番所前に縁

葉繁く番所の威嚴を保つたものであるが、

文化の流れは同所に縣道を改設、電車線路

を敷設、さらに交通整理の立場から名木伐

採の動議さへあちこちから出たものである

が、その都度元市會議員和田又藏氏が保存

説を振舞して眞向から反対し續け、このご

ろは小川醫院長小川音之輔氏が守り役とな

り番所松に関する限り名木愛護の第一人者

となつて保存につとめてゐる有様でつい

二、三ヶ月前も何かの座談會の席上伐り倒

し説が出たが結局市でも維持策を講ずることになり。近く枝を剪定、美化ならびに補

強工作を施し歴史に因む老松の保存をはか

ることとなつたと朝報紙は傳へてゐる。

○全國稀なやどり木の椋 島取縣東伯郡船

上山麓以西村大熊寺境内の樹齡千年を超え

る椋の巨木は目通り九・八二メートル、高さ二九メートル、枝張り三〇メートル餘に上り、しかも地上九メートルの枝股から一丈餘の寄生木じよるの木が元氣よく成育してゐる珍らしい木である。

○珍鑄石蛭石の發見 此蛭石は北米合衆國モンタナ地方の山中に見出される珍石である、此鑄石は多くの有用な鑄物を含有して居る、夫れを加熱し約二十七時間經過すれば美しい黃金色を呈する。夫れが極めて軽く、強靭で而かも安價であつてコルクに似て居るからその代用品として普及せらるゝであろう。世の中に在る萬物は用ひて善からざるものはない、其結果の悪しきは用ひるの道を得ないからである。

## 人間界にも蠟螂の同 志あり

平和の表象として見るべき驥馬でも牧草

のない時は互に相咬むと言はれておるが蠟  
螂には一段と共に食の殘忍性がある、おれの

## 産業の振興は道路か

ら

小林高知縣知事は頃日其の縣治の所信を述べられるゝ所があつたが産業の振興は道

路其の他の交通整備からだと、即ち産業と

と忽ち共食ひをはじめる、殊にその卵巣が發達して來ると一層共食ひの殘忍性が露出する。雄は小形だから一たまりもなく雌に殺されてしまふが雌と雌との生命の取合ひ

になるとものすごいものである、その敗者の肉は勝者の餌になるばかりでなく兄弟姉妹も相食むのである。餓狼に等しいと云ふが狼でも共食ひする程の殘忍性はない、隣

縣が天稟豊かなるに拘はらず産業の不振なる原因はまたこゝにその一半を持つてゐる、幸ひ土讃線の開通により交通系統に一

期を費したが未だ十分でなく、縣内外に向つて更に一層これが完備を急がねばならぬ

1、鐵道一日も早く四國循環鐵道の完成

を期しなければならぬ。

2、道路—本縣の道路は山岳重疊たる間を

繩うて行かねばならぬので、工事困難、

従つて工費も多端である。

貧弱なる地方財政をもつてして良くこれだけの道路を有し得たことはむしろ先人に感

謝しなければならぬ。

ところであるが、産業開発の見地よりすればいまだ十分ならず、まづ幹線の改修が必要である。

例へば第二十三號國道、高知—戸戸線、高知—中村線、高知—松山線等すべて幅員、勾配、カーブ、踏切、橋梁等の點において改良を要するもの頗る多くその輸送力速度の點において遺憾少からざるものがある。

次に未改修道路の改修と道路の新設である、山村には材木その他の林産物、鏽石等相等の資源有利があるが、道路のないため空しく埋れて何ら經濟的價値を有し得ぬものがある。これらに對し逐次道路の新設改修を行つて運搬の便を與へ、産業の開發に資するは目下の喫緊事である。

3、港灣の修業—大洋に面する關係上港灣の修業は容易でないが陸路の交通は本縣産業の發達に重大なる關係あるがゆゑに

逐次これが達成を期さねばならぬ。特に浦戸港を完備し直接海外との取引に支障なからしむることはもつとも必要である

ると御尤もある。國防上から見ても先づ道路からネ。

### 夏 秋 漫吟

帆柱の眞上に月や青嵐  
葦を漕ぎ出て水門や水馬  
巴藤

翠つくる雲に夕陽の燃えにけり

星飛べる濃き夜空かな行水す

朝顔の萎みて窓の日ざしかな

血ぶくれの蚊を打ちかねし裸かな

ひるね起き耳のかゆさよ蟬時雨

竈戸に動く木影に涼し蚊帳の夕

雷去つて湖心を領すおれが舟

わが影の水に亂れて舟涼し

釣橋にゆらめく心涼しさよ

せゝらぎに河鹿まぎれず霧の雲

あけぼのの霧はれ行くに蓮の花